

# 奈良県の経済動向の概要(令和2年11月)

別紙

統計分析課

## 奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
7月	↓	↓	↑	↓
8月	↑	↓	↓	↓
9月	↓	↓	↑	↓
10月		↑		
最新月の動き	▲8.0% 2か月ぶりの減少	36.1% 13か月ぶりの増加	7.7%【前月比】 2か月ぶりの上昇	▲15.2% 6か月連続の減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
7月	↓	↑	↓	↓
8月	↓	↑	↓	↑
9月	↓	↑	↓	↓
最新月の動き	3か月後方移動平均 7か月連続の減少	6.2% 6か月連続の増加	▲0.05ポイント【前月比】 9か月連続の減少	▲0.05ポイント【前月比】 2か月ぶりの減少

↑	上昇	→	横ばい	↓	低下
---	----	---	-----	---	----

## (参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。【7月公表分】	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部で持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。【5月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。【11月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】